



































チャレンジ項目記入数

6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・理念、方針を明文化し社内各部署に掲示し周知している ・全従業員が、福祉用具・介護用品を通じて地域社会に貢献するという使命を理解し、誇りと責任をもって日々業務に取り組んでいる								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令順守の規定があり、会議の場で法令順守の重要性を全従業員にむけて発信している																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、その重要性について「コンプライアンスの七文字の原則」と題して明文化し、社内に掲示する方法で、法令を順守し、監督官庁のガイドラインなどに沿った正式な対応を行うよう指示している ・また、仕入先への不当な値引き圧力をことがないよう従業員へ徹底するとともに、対外的にもパートナーシップ構築宣言として表明している ・顧問会計士や社労士に適宣確認を行うなど適切な対応に取り組んでいる											10					16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・毎日の生活に欠かせない事業を担う専門部隊として、部門別に部署を配置し、安心安全な社会活動を営むためのサービスの提供が社会や環境に及ぼす影響を考慮しながら対応を行っている ・担当者として、福祉用具専門相談員やサービス提供責任者を任命している																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・経営上重要な情報に関する漏洩防止等について、就業規則の服務規律により遵守事項をさだめている								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・研修会を開催するなど、情報漏洩防止を徹底している ・保険代理店業務に関しては定期的に第三者評価を得ている																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧客の声(特に苦情)を大事にし、記録として残すことで再発防止し、双方のコミュニケーションに役立てている ・半年1回の利用者訪問を基本とし、モニタリング調査の結果を記録している															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・信頼できる企業との取引を徹底し、安定した商品提供を行うことで、利用者の健全な日常生活の維持に取り組んでいる ・パートナーシップ構築宣言を行っている					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・地震や新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ、BCPを策定している ・事業継続計画書の重要業務継続のための対策検討状況について、年1回現状チェックを行うなど定期的に内容を見直し、最新の状態を保つように取り組んでいる									9		11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件および職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している ・差別や各種ハラスメントの禁止について、ハラスメントの防止に関する規定に定めている ・相談窓口を設置している				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・職場での心理的安全性(恐怖や不安を感じることなく、安心して発言行動できる職場環境)実現に向けた管理職への教育や啓発活動を実施している ・事案、事例をもとに改善対策や再発防止への取り組みを行っている			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・パート社員)の公正な待遇を行っている ・顧問の社会保険労務士に確認しながら体制の整備を適宜行っている					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理を徹底(残業申請制度を導入)し、定時での退社を促進している ・有給休暇申請をデジタル化することで従業員が休暇取得をしやすい環境を整え、かつ、ペーパーレス化により業務の効率化にも取り組んでいる			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・必要経費・資格手当の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を推奨している				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・従業員の健康維持向上を呼び掛けている ・定期健診や予防接種の経費補助を行っている			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない ・人事考課制度を整備し、多様な人材の育成に取り組んでいる				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・感染対策マニュアルを整備し、クラスター防止に取り組んでいる ・ウェブ会議を推進・徹底している			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・システム更改による業務改革に取り組んでいる ・タブレット導入による業務効率の改善(ペーパーレス化)を計画、導入している								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12						


















チャレンジ項目記入数

6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物処理業者に委託し、適切な管理及び廃棄処理を行っている ・消毒作業責任者を配置し、適切な管理を行っている ・事務所隣接の別棟に消毒室と作業場を設置し、使用済みマットレスや車いすの消毒・整備を実施している			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・毎月の光熱費(冷房は27℃に設定)や燃料費(給油と走行距離を毎月記録し、CO2排出量の増減をチェック)について前年同月実績と比較をし、増加理由を検証することで節電や燃料費の削減に取り組んでいる							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・ドラレコ管理システムを導入し、社用車の走行ルートを見える化することで、急速発信や急ハンドル、無駄な走行ルートになっていないかをチェックしている(クラウドシステム) ・月間走行距離と給油を毎月記録し、そのデーターからCO2排出量を算出し、全社員で共有することで排出抑制と効率化に取り組んでいる		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・社内でも、廃プラやレジ袋などの使用削減を推進しているほか、資源ごみの分別によるリサイクルを進めることで環境負荷の抑制に取り組んでいる						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化を進めるとともに、裏紙の利用を促進している ・2028年3月までにコピー用紙使用量マイナス80kgを削減する計画としている									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事務所洗面所に、自動停止センサー付き蛇口を設置している		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・使用できる部品(電動ベッドモーター、車椅子のブレーキ関連)を中心に再利用を推進している									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・事務所建物外周の植樹を行っている											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

チャレンジ項目記入数

6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・提供するサービスの質を確保するため、従業員に専門相談員やサービス責任者の資格を取得させ、サービス品質の改善を進めることで利用者に安心、安全を提供できる仕組みを構築している ・高度医療機器管理責任者を配置し、医療機器等を販売・レンタルするときは導入者向けに取り扱い説明会を開催し、安全確保と使用方法の情報共有を行っている(AED等)			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・備品やサービス及び施設等において、ユニバーサルデザインを考慮している ・ショールーム入口を車いすでも入れるスロープにしている ・車いす対応トイレを設置している									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●							7						12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・従業員に対して、居住している地域活動やボランティアに参画するように推奨している ・地域が抱える課題解決のため、市区町村が企画する福祉イベントに車いす等無償貸し出しを実施するなどの寄付を行っている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事務所において、防災備蓄や防災グッズを常備している ・従業員にハザードマップを周知している ・災害に対応する保険に加入している				4							11.5		13.1		16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・学校等と連携し講師の派遣を行っている				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17